

令和7年度 北海道天売高等学校 学校評価アンケート集計結果

※各項目について、A～Dのうち該当するものを選び○印を付けてください。

A：そう思う B：まあそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない

大項目	中項目	NO.	小項目	平均				
				教員	生徒	保護者	関係者	
学校経営	教育目標	1	【本校の教育目標】 「社会や地域の期待に応え、天売でしかできない教育の実践と社会に自立し共生できる人を育む」 この教育目標は、生徒の実態や、保護者・地域の求める教育の方向性と合致している。	3.6	3.9	3.8	3.0	
		2	学校の教育目標を達成・具現化するため、学校全体および個々の教員が日々の教育活動に取り組んでいる。	3.7		3.8	2.8	
組織運営	校務分掌	3	学校運営の効率化及び組織の改善を図りながら、各学年や各分掌との連携が十分にとられている。	3.3				
		4	職員室は気軽に相談などができる雰囲気になれ、教員相互のコミュニケーション・共通理解が図られている。	3.4				
	校内研修	5	月例反省会などを通じて、行事の改善や学校課題の解決に向けた意見交換が行われている。	3.2				
		6	公開授業研究及び研究協議は、各人の授業改善に効果的である。	3.7				
		7	教員としての資質を高めるため、校内研修が十分に行われている。	3.7				
	教育課程の編成	8	学習指導要領のねらいを踏まえ、生徒の実態や地域のニーズに応えた、特色ある教育活動を展開している。	3.6		3.9	2.8	
	教育活動	特色ある教育活動	9	水産実習「赤ガレイ燻製」「タコ燻製」「ウニ缶詰」「スモークサーモン」は、本校の特色として魅力になり、適切な活動となっている。	3.8	3.9	4.0	3.5
			10	天売学「島内清掃天売島クリーン作戦」での野外活動、「和太鼓」や「天売の自然」における外部講師からの講話は本校の特色として魅力になり、適切な活動となっている。	3.8	3.9	3.9	3.3
11			総合的な探究の時間「花植えボランティア」「生活体験発表作文製作」「水産クラブ探究活動(資料作成)」は、本校の特色として魅力になり、適切な探究活動となっている。	3.8	3.8	3.9	3.2	
学習指導		12	少人数教育の利点を生かし、見方・考え方を働かせて生徒の状況に応じた柔軟な授業展開・改善が実践されている。	3.7	3.8	3.9	2.8	
		13	主体的に学び探求する機会が設定できている。	3.6	3.9			
		14	天売学、水産、総合的な探究の時間について、それぞれ目標とする力を身に付けることができている。	3.6				
		15	資格取得の充実にに向けた指導が十分なされている。	3.7	3.9	3.5	3.0	

※各項目について、A～Dのうち該当するものを選び○印を付けてください。

A：そう思う B：まあそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない

大項目	中項目	NO.	小項目	平均			
				教員	生徒	保護者	関係者
教育活動	生徒指導	16	生徒理解のため教育相談の充実が図られている。	3.8	3.9	3.9	2.8
		17	授業規律指導が行われている。	3.8	3.9		
		18	保護者や地域と連携した取組が行われている。	3.5	3.6	3.9	2.5
		19	好ましい人間関係が構築されている。	3.6	3.8		
	進路指導	20	進路に向け、的確な情報・資料提供・連携が行われている。	3.9	3.9	3.6	3.3
		21	早期の進路目標設定と実現に向けた進路指導の充実が図られている。	3.8	3.8	3.6	3.2
		22	心身の健康面の日常観察に努め、健康への関心・理解の促進が図られている。	3.8	3.9		
	健康・安全指導	23	防災訓練や各種講話により生徒の安全意識が高まっている。	3.7	3.6		
		24	校内外の環境美化への取り組みと施設設備の適切な管理が行われている。	3.6	3.8		
25		学校評価を活用し、教育活動の改善を図っている。	3.7				
学校運営	信頼される学校づくり	26	法令遵守と説明責任に基づいた教育活動が行われている。	3.7			
		27	天売学や水産実習、その他の行事において地域との連携が十分に図られている。	3.7			
		28	学校図書の開放が進んでいる。	3.7		3.7	2.8
		29	学校通信の発行やWebページの更新・充実が図られている。	3.7		3.8	2.8
		30	管理職が明確な方向性を示し課題共有を図る取組を行っている。	3.1			
	組織運営	31	面談等を利用し適切な指導を行い、互いに高め合う環境となっている。	3.3			
		32	校務運営会議の機能の充実や分掌・委員会の連携が促進されている。	3.6			
		33	教職員の学校経営への参画意識の高揚が図られている。	3.5			
		34	日常的に授業互観に努め、主体的・対話的で深い学びの具現化への授業改善が図られている。	3.7			
	教職員の資質向上	35	シラバスの有効活用、授業評価により授業の改善工夫がなされている。	3.8			
		36	校内研修が活発に行われている。	3.9			
		37	服務規律の保持に関する情報提供や研修が行われている。	3.8			
		38	事故防止に努めている。	3.9			
		39	勤務時間を意識した働き方改革が浸透されている。	3.4			